

教育同窓会 会報

- ・教育学部
- ・人間社会学域
学校教育学類
- ・大学院教職実践研究科
- ・養護教諭特別別科

発行：金沢大学 教育同窓会事務局

第 11 号 2021.3.22



「コロナ禍における教育実習・介護等体験」

学校教育学類長
守屋 哲治

令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、大学の教育も大きな影響を受けた。今回はそのなかでも教育実習・介護等体験をどのように実施したかを紹介する。

新型コロナウイルスの感染者が、1月に日本でも初めて確認されて以来急速に拡がりを見せるなか、全国の小中高校および特別支援学校に3月2日からの休校要請が出された。この休校要請は当初は春休みまでとされていたがその後新学期も継続されることとなった。

このような状況下で文科省からは4月3日に教育実習・介護等体験の実施時期・実施期間を弾力的に検討するよう指示が出されたものの、4月16日に全国に緊急事態宣言が出されたことを受けて、さらに5月1日に教育実習の総時間数のうち3分の1を超えない範囲を大学の授業等で行うことができるとの通達が出された。

これを受けて学校教育学類では、介護等体験をすべて秋以降に延期すること、附属小学校・中学校での教育実習は2週間とし、9月の前半と後半で2グループに分けることにした。ただし2週間の実習では時間数が足りないため、文科省が学校再開後の小学校や中学校などで指導・補助にあたるサポーターをつける予算で措置された、石川県教育委員会の学習サポーター制度を利用して、1週間以上のサポート活動を行うことを義務づけた。また、養護教諭特別別科の養護実習は3週間

実習に短縮したが、4年生の協力校実習については予定どおり2週間実施とした。

秋からの実施を予定していた介護等体験は、石川県教育委員会より県内特別支援学校における今年度の介護等体験の受入れを中止するとの通知が出されたため、公立特別支援学校での介護等体験が中止となり、附属特別支援学校のみで実施された。また、社会福祉施設での介護等体験は新型コロナウイルス感染予防の観点から、一律に中止することが望ましいとの結論に至り、開始予定9月14日(月)以降の施設を辞退した。

全国的にこのような状況になっていることを受け、文科省は8月11日に教育職員免許法の施行規則を改定し、特別支援学校の教諭の普通免許状に係る課程において開設される特別支援教育に関する科目の単位を1単位以上修得することで介護等体験を免除できるとしたこと、学校教育学類でも、急遽、『障害児教育基礎論』を介護等体験代替対象科目として増設し、オンデマンド形式で開講した。

以上のように、今年度はなんとか文科省から出された緩和措置を利用しながら教育実習・介護等体験の要件を対象学生全員が満たすことができた。しかしながら例年と比べると学びの質が落ちたことは否めない。また、コロナの第3波を迎えている現在、来年度の教育実習および介護等体験をどのように行うことができるのかの見通しが立たない状況である。コロナの収束が見通せない状態が続くとしても、実習等の学びの質をいかに担保していくかを考えるためには、実習で何を身に付けさせるかを再確認したうえで、新たな発想による対応が必要になるかもしれない。

シリーズ 大学を訪ねて⑦

金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属幼稚園
副園長 西多由貴江



◆沿革

日本に初めて幼稚園が開設されてから11年後の明治20年、私立金沢幼稚園を石川県尋常師範学校に移管し、現在の広坂緑地にて石川県尋常師範学校附属幼稚園として開設されたのが本園の始まりです。その後、明治22年に現在の21世紀美術館の地に移転し、明治31年に石川県師範学校附属幼稚園、大正3年には石川県女子師範学校が石川県師範学校から分離されると同時に石川県女子師範学校附属幼稚園と改称され、昭和18年には石川県師範学校女子部附属幼稚園となりました。戦後は、学制改革により昭和24年に金沢大学石川県師範学校附属幼稚園、昭和26年には金沢大学教育学部附属幼稚園となりました。その後、附属小学校普通教室、附属中学校講堂、特殊教室、石川県師範学校旧校舎へと移転を繰り返し、昭和43年に附属中学校に隣接して園舎が新築されました。平成の時代になり、3歳児学級の開設、4歳児学級の増設、5歳児学級の増設が行われ、平成7年には新園舎が建設され、附属小学校、附属中学校と共に平和町に移転し、現在に及んでいます。



平成16年金沢大学が国立大学法人となり、平成20年には大学の改組により学部制から学域・学類制に移行されたことにともない、園名が金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園と変更されました。そして、平成29年には、1学級の定員が24名となり、3歳児1学級24名、4歳児2学級48名、5歳児2学級48名、合計120名定員となり、現在に至っています。

◆教育と研究

本園は教育目標を「一人一人の幼児が自分なり

の力を発揮し、友達とかかわり合いながら生きる力をやしなう」と定め、幼児一人一人が身近な環境とかかわりながら遊びを通して学び合う教育を実践しています。幼児期の教育は、点数や目に見える学力という形では表現できないもどかしさがありますが、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。Society5.0時代の到来など、子供たちを取り巻く環境が大きく変化する中でも、幼児期の教育はこれまでと変わらずに一人一人の幼児が身近な環境に主体的に関わり、様々な活動を楽しむ中で、達成感を味わいながら健やかに育つことができるよう教育していくことが責務であると考えます。また、日々の実践を基に、研究活動にも取り組んでいます。附属学校園の共通研究テーマ「Society5.0を豊かに生きる資質・能力の育成」のもと、幼稚園では今年度『幼児期に育む社会情動的スキル』をテーマとし研究に取り組んでいます。このほか、最近では附属学校園連携GPとして「幼小接続カリキュラムの開発」「幼児の自然体験教育プログラムの開発」などに取り組み、その成果を全国に発信してきました。

◆自然体験活動

平成25年度より2年間、金沢大学環境保全センター統括のもと「角間の里山ゾーンを活用した幼児向けの自然教育プログラムの開発」に参画しました。その後、附属学校園連携GPとして平成28年から4年間、大学研究者、地域の方々など、多職種連携のもと「幼児の自然体験教育プログラムの開発～金沢大学角間の里山ゾーンを活用して～」に取り組み、自然体験プログラムの作成と共に「安全対策マニュアル」を刊行しました。現在も年間を通じて里山での自然体験活動を継続すると共に、いしかわ自然インストラクター、角間の里山メイト、教員が連携し、お互いの専門性を活かしながら、幼児にとって学びの多いプログラムを開発しています。



◆今後の幼稚園

急激に変化する時代の中、子供たちを取り巻く環境は日々変化していくことでしょう。しかしこれからも大学附属として、幼児の学びを保障する教育を模索し続けていきたいと思っています。

金沢大学教育学部数学教室及び 学校教育学類数学教育専修同窓会

数学教室の同窓会は歴史のあるもので、初代会長が昭和28年卒業生、現在会長は27代目に至る状況です。

毎年、同窓会を開催し、様々な世代の同窓生とお会いして、大学時代の思い出や近況を語り親交を深めています。この同窓会には、当時の教授である久志本茂先生、現在の数学教室の山下浩教授、伊藤伸也准教授、大学院の大谷実教授もお招きしており、同窓生にとっては先生方にお会いすることも楽しみとなっています。平成27年に開催した同窓会では、本会会員でもある国立教育政策研究所教育課程研究センター、総合研究官(当時の役職名)銀島文先生に、これからの子どもたちについてご講演もいただきました。

昨年度は、令和元年10月5日(土)に、ガーデンホテル金沢にて同窓会を開催しました。



【久志本教授によるご挨拶】



【乾杯】



【歓談】

「来年もまたお会いしましょう。」「次回は、久志本教授の米寿をお祝いしたく、是非教授に会いに多くの方に同窓会に参加していただきたい。お仲間にも一声を…」と、次の開催をお約束して閉会したのですが、今年度(令和2年度)は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ながら開催を見送ることとしました。

さて、近年の役員会で話題となっていることは、同窓会の維持存続です。会員の皆さんが旧友を誘って参加していただくこと、同窓会名簿を4年に一度発行すること、同窓会維持協力金の継続に関すること、新規会員を呼びかけることなどを通して、会を盛り立てていこうとしています。新規会員の呼びかけに関しては、卒業前の研究室室内発表会の折に、役員が大学へ出向いて同窓会入会の説明をさせていただいています。

次年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が終息し、総会及び懇親会を開催できること、たくさんの方にご出席いただいて旧交を温め、親睦を深めることを願っています。



【集合写真】

☆☆☆ 学友支援室からのお知らせ ☆☆☆

令和3年の第15回ホームカミングデイは、10月30日(土)に開催！
卒業生・修了生の皆様、久しぶりに青春の学舎に寄りませんか！

昨年の第14回は、令和2年10月31日(土)、本学角間キャンパスにおいて、歓迎式典を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、歓迎式典のみの開催となりました。なお、当日来場がかなわない方のために、LIVE配信を行いました。

歓迎式典には約50名の卒業生およびそのご家族等にご出席いただき、賑やかな1日になりました。

歓迎式典では、山崎 光悦 学長の歓迎挨拶、山出 保 金沢大学学友会会長の祝辞、青木 健一 理事・副学長による金沢大学の近況報告、そして、日本人学生(2名)による留学体験報告・サッカー部代表による課外活動報告が披露されました。

次回、第15回金沢大学ホームカミングデイは、令和3年10月30日(土)に開催することになりました。

次回までには、新型コロナウイルス感染症が収まることを願いつつ、同期生・サークル仲間の皆様におかれましては、校歌を歌い是非とも懐かしい母校にお越しいただきますよう、お願い申し上げます。

○金沢大学学友支援室Webサイト(ホームカミングデイの情報も掲載)

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html

○学友支援ニュース・レター(学友支援室Webサイト内にPDF版を掲載)

同窓会の開催予定や報告、本学の行事・イベント等をご紹介します。

教育同窓会 会計決算報告(R1年度)

令和元年度 金沢大学教育同窓会 会計決算報告(H31.4~R2.3)

【収入】

項目	金額(円)	備考
1 繰越金	1,946,471	
2 会費	1,270,990	新入学生終身会費(64名)
3 利子	20	
合計	3,217,481	

【支出】

項目	金額(円)	備考
1 会議費	0	
2 通信費	15,260	住所変更連絡等料金後納郵便料 事務連絡費
3 事務用品費	4,006	印刷用紙 コピー代 など
4 分担金	0	
5 印刷発送費	1,110,757	会報No.10印刷発送
6 慶祝費	163,000	卒業祝い図書カード(1,000円×153人) 岩田監事香典
7 その他	9,000	会報執筆お礼(3000円×3)
合計	1,302,023	

収入総額 3,217,481円 - 支出総額 1,302,023円 = 1,915,458円

【差引残高】 1,915,458円はR2年度事業に繰り越し。

★臨時同窓会費(一口1,000円)にご協力ください★

【ゆうちょ銀行】 振替番号：00710-9-100435

加入者名：金沢大学教育同窓会

同窓会名簿の維持と会報発行事業のためお願いします

★同窓会情報をお寄せください★

同期会や研究室の同窓会などの開催予定や開催情報を、同封の返信用はがきで事務局までご一報ください。情報をお知りの方、どなたでも構いません。会報に同窓会情報として掲載します。幹事様のお名前をご連絡ください。

また、同窓会を開催するために、名簿などの情報が必要でしたら、事務局までお問い合わせ下さい。

【事務局】 〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学事務局 学友支援室
TEL 076-264-5081
gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

臨時同窓会費にご協力いただいた方々(R2年度)

北本正明 日置恵子 引戸 武(敬称略)

編集後記

この1年、コロナ禍の影響で同窓会の開催を取りやめたという知らせがたくさんありました。大学も卒業式や入学式さえ開催できず、大きな影響を受けたようです。講義や実習がままならない中、頑張っている母校の学生達に、同窓会としてもエールを送り続けたいと思います。

(副会長 澤野)